

伊奈吉物語

★ INAKICHI MONOGATARI ★



第 2 話

Episode 2

公益財団法人いきいき埼玉





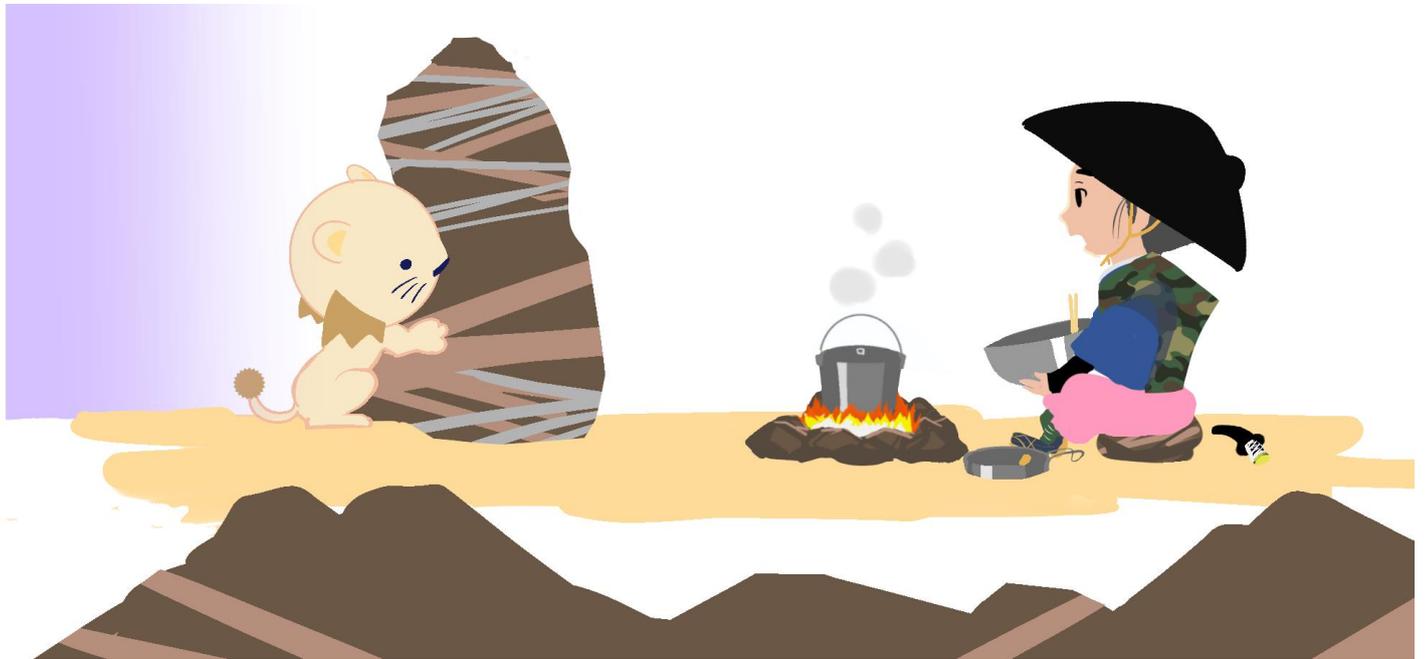
伊奈吉は、こっそり
岩場の かげから
ようすを のぞいて みました。

そこには ひとりの
にんげんが いて、
火と 道具を つかって
なにか しています。



「なんじゃ、おまえは。

それで かくれている つもりかね？」



伊奈吉は、 そのまま
にんげんの やっていることを
じっと みていました。

「^{みょう}妙な ^{しし}獅子じゃな。 火を おそれぬ」

にんげんは いいました。

「それに、わたしを とって 食おうという つもりでも ないらしい。

いったい ここで なにをしている？」

伊奈吉は たずねられる まま、
自分は 狩りが にがてな ために
なかまに おいていかれて しまったことを はなしました。

「そりゃ、あんな かくれ方を するものが
狩りが ^{たっしや} 達者とは 思えんが」
にんげんは わらって いいました。

「なるほど、よく わかった。
ならば、おまえの なかまたちは
きっと くたびれて、
^{はら}腹を すかして もどってくるだろう。」

そんな、なかまの ために できる
よい ことを しているかね？」

